

2025年 運動会を終えて 4年生

かけ足跳びを頑張りました。かけ足跳びはスピードが速いので、友達と中休みに「かけ足跳びリレー」をして練習しました。ホイール跳びが最初できず、タイミングすら合わなくて悩んでいましたが、友達にアドバイスをもらったらできるようになりました。自分ができなかったことや苦手なことでも仲間に聞いたり一緒にやったりすることが大切だと思いました。

中休みや昼休みに少しづつ練習をして引っかかる回数が少なくなりました。2人跳びだけでなく、メリーゴーランド（縄跳びの技）も頑張りました。メリーゴーランドは10人くらいでやるものなので、なかなかうまくできませんでした。でも、焦らず練習を重ねていくうちに成功の回数が増えてきました。これは、自分だけでなく、友達の力があってできたことだと思います。

運動会を通して学んだことは、みんなで助け合って、協力することです。なわとびでは、苦手な技は友達に教えてもらったり、「この技はどうやってできる？」と聞かれたら一緒に練習したりしました。できるようになるとすごくうれしくて、「協力することはやっぱり大事だな」ということを改めて学びました。

練習が始まる前は、ダンスやなわとびのふりつけなど全部覚えられるか不安だったけれど、毎回の練習を意識することで振り付けを覚えることができました。徒競走では、最後まで走り続けたら順位が上がったので、負けそうでも最後まで諦めないほうが良いということが分かりました。

今までの運動会では、一人一人の頑張りが結果になっていたと思いました。しかし4年生での運動会では、みんなの力が集まらないと完成しないパフォーマンスでした。特に2人跳びやホイール跳びはみんなと協力することで完成する技なので協力する楽しさを感じる運動会になりました。

仲間がいるからこそ、競う相手がいるからこそ、楽しい運動会ができるということを改めて学ぶことができました。これから競技を行う際には競い合ってくれる相手がいるからこそ競技が楽しくなるため、競う相手に感謝を忘れずにいてほしいと思いました。

運動会を終えて

運動会委員長 多喜 誠

子どもたちはいい表情で踊り、勝敗に心動かされながら、一人一人が素晴らしい活躍を見せてくれました。今回の運動会で培った力を、今度は日常生活でも発揮してほしいです。当日は、多くの保護者や地域の皆様にご来場いただきました。観戦のルール、マナーを守り、温かい雰囲気で児童の活動を見守っていただきました。運動会後の片付けを手伝ってくださった皆様ご協力ありがとうございました。

新しいタブレットについて

ICT 担当 塚越 裕貴

高学年から順に、タブレットのリプレイス作業を進めてきました。今回配布したiPadは、ベーシックなモデルのiPadの中でも、最新の機種です。今まで使っていたものよりも、およそ3世代分新しいので、スペック的にはかなり向上しています。様々な面で使い勝手がよくなっていますが、周辺機器も含め、今回のアップデートの目玉は、大きく分けて以下の3つです。

① カメラ性能の向上 ②スタイラスペンの配布 ③ストレージ容量の向上

①は、特に理科をはじめとして、様々な場面で効果が期待できます。より鮮明な記録を残せるようになったことは、シンプルに学習の質を向上させてくれます。②は、iPadのよさをさらに高めます。ペンの導入により、アナログ感覚でデジタル空間に描画や筆記ができるようになりました。これは、「入力」のハードルを下げるとともに、児童がより多様な表現方法を得ることにもつながります。③は、今回128GBに増量され、旧モデルの4倍となりました。今まででは、ストレージ容量不足でOSのアップデートができないなどのトラブルがありましたが、今後はそういう心配もなくなります。

新しいiPadの使い方は無限大です。便利な「ツール」として使いこなせるよう、今後も積極的に活用していきます。